

令和3年度 女性のチャレンジ賞表彰

様々な活動にチャレンジしている女性、団体・グループをご推薦ください！

男女共同参画社会の実現のためには、誰もが自らの意欲と能力によって自分の未来を切り開いていくこと、夢や志を実現することが可能であると信じられるような、柔軟で活力ある社会にしていけることが大切です。

そこで、起業やNPO、地域活動などにより様々な分野で活躍している身近な女性のモデルを示すことによって、女性が活躍する機運を高めていくため、「女性のチャレンジ賞」を実施しています。

〔表彰の種類・対象〕

（１）女性のチャレンジ賞（４件程度）

起業やNPOなど様々な活動を通じて社会課題の解決を目指すチャレンジ、新たな分野に活躍の場を広げるチャレンジなど、身近なモデルになると思われる女性個人、女性団体・グループ

（２）女性のチャレンジ支援賞（２件程度）

（１）にあるような女性のチャレンジについて積極的な支援を行い、男女共同参画社会の形成の促進に寄与したと認められる個人、団体・グループ（男性による支援を含む）

（３）女性のチャレンジ賞特別部門賞（２件程度）

上記（１）（２）に該当する者のうち、当該年度の特別部門賞テーマに該当する者

令和3年度のテーマ「困難な状況に置かれているひとり親家庭への支援」

新型コロナウイルス感染症の拡大が及ぼす影響は、女性に大きく現れています。とりわけ、雇用や収入が失われ、生活が困窮しているなど、苦境に陥っているひとり親家庭が多い状況にあります。

そのような困難な状況に置かれているひとり親家庭を支援している個人（男性含む。）、団体・グループを表彰することで、ひとり親家庭に対する関心を高め、支援が促進されていくことを期待しています。

〔募集締切〕 令和3年3月5日(金)必着

〔応募方法〕 男女共同参画局ホームページの女性のチャレンジ賞募集ページから、推薦調書をダウンロードし、必要事項を御記入の上、電子メールにて御提出ください。

✉ g-women.challenge.c9y<@>cao.go.jp

（<@>を@に変更して送信してください。）

〔お問合せ〕 内閣府男女共同参画局総務課 女性のチャレンジ賞担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1

電話：03-5253-1356、1357（直通）

HP：右のQRコードからアクセスできます。



〔ご参考：令和2年度女性のチャレンジ賞受賞者、受賞団体一覧〕

月刊総合情報誌「共同参画」11月号より抜粋

■ 女性のチャレンジ賞 受賞者3名、受賞団体1件

50音順、敬称略



ウーマンメイク株式会社
代表取締役 平山 亜美 推薦者：大分県

地域の農業分野において、「女性が働く事を念頭に置いた事業設計」「柔軟な勤務体系」「人材育成」の視点から、育児中の方も含めた幅広い年代の女性が活躍できる職場づくりを行っている。



**特定非営利活動法人Homedoor 理事長
川口 加奈** 推薦者：経済産業省（大阪府）

14歳でホームレス問題に出会い、19歳で現法人を設立。早くからホームレスの就労支援、生活支援、それに係る啓発活動等を通して社会課題に向き合ってきており、女性や若者のロールモデルである。



**大阪医科大学 一般・消化器外科 研究生
河野 恵美子** 推薦者：一般（大阪府）

女性仕様の手術機器の研究・開発や、女性消化器外科医を支援する団体「AEGIS-Women」の設立など、女性外科医の労働環境改善に向けた取組を、長期にわたり継続して実施している。



**株式会社山崎製作所 代表取締役
山崎 かおり** 推薦者：静岡県

板金加工の事業を承継後、女性の感性と熟練職人の技術を融合した自社アクセサリブランド「三代目板金屋」を立ち上げ、国内外に販路を拡大。地域企業との連携も進めている。

■ 女性のチャレンジ支援賞 受賞者1名、受賞団体1件

50音順、敬称略



土佐工業株式会社
代表取締役 柴田 久恵 推薦者：千葉県

女性向け作業着の考案や、女性技術者、技能者に焦点をあてた冊子「けんせつ姫」の発行により、建設現場で女性が働くことのロールモデルを示し、女性の参入を促進している。



**株式会社クリエイティブおおき 代表取締役
水落 重喜** 推薦者：福岡県

男性中心だった農村社会において、しめじ部会女性部の設立を通じて女性経営者の育成に努めたほか、まちづくりの中心となる女性リーダーの育成にも貢献。女性が活躍できる場を積極的に創出している。

■ 女性のチャレンジ賞特別部門賞「スポーツの持つ力～東京オリンピック・パラリンピックに寄せて～」 受賞者2名 50音順、敬称略



**公益財団法人日本ラグビーフットボール協会評議員
岸田 則子** 推薦者：埼玉県

スポーツにおける女性の地位向上に尽力したほか、日本女子ラグビーフットボール連盟の設立から普及発展まで、長年にわたり大きく貢献した。現在の女子ラグビーの礎を築いている。



**飯塚国際車いすテニス大会 会長
前田 恵理** 推薦者：福岡県

先駆的に車いすテニスの普及に努め、日本初の「九州車いすテニス協会」へも名を連ねた。また、「飯塚国際車いすテニス大会」の委員を第1回から務め、国際大会の運営に携わったほか、現在も障がい者スポーツの普及振興や、地域の活性化、青少年の育成等に貢献している。